

R5年度 学校保健委員会の報告

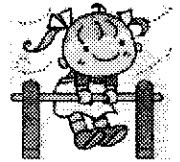


7月7日(金)に、学校医の津島先生、学校薬剤師の西依先生、PTA執行部の方、担当の教職員が集まり、体カテスト・学校保健・学校給食の担当からの報告がありました。

OR4年度 新体カテスト結果について 体育主任の小池先生より、令和4年度の附属小の平均と岡山県平均とを比較して見えた特徴について報告がありました。

結果より

- ◎全項目、合計点の平均値は、すべての学年男女ともにも県の数値を上回っている。
- ◎男女ともに握力、上体起こし、20mシャトルランで県平均より上回っている学年が多い。
(握力…2年以外、上体起こし…2年男子以外、20mシャトルラン…6年男子以外)



◎1年生男子は、すべての種目において県平均より上回っている。

△女子は、ソフトボール投げで県平均を下回っている学年が多い。(1・3・4・5年)

△昨年度の値と比べると、女子の20mシャトルランとソフトボール投げにおいて全学年下回っている。

体カテスト結果低下の背景には、コロナ禍の影響での運動量の低下、体力の低下、休み時間に外に行くことが減ったこと(クロームブックや熱中症予防対策として外遊びの制限など)なども要因と考えています。昨年度と比較し下回ったシャトルランやソフトボール投げでは、持久力や投の運動をみており、体づくり運動のなかで持久力や投の動きを強化できるようにしていきたいと思っています。また、これから体育委員会発信で、運動をペア学年でできるよう活動していこうと考えています。

○学校保健(健康診断結果・保健室利用状況・スポーツ振興センター災害給付)について 養護 内田より報告しました。

- ・肥満・やせ児童の割合は、年々増加している。
- ・歯科検診結果から、今年度むし歯罹患率は11.4%と大変低かった。歯垢・歯肉の様子もきれいな状態の子も多く、全体的に歯・口の状態がよい。むし歯治療がまだの方は早めに受診をお願いしたい。
- ・運動器検診結果では、運動器検診の罹患率が県と比較し、比較的高い。附小は、スポーツをしている児童が多く、専門医による運動器検診を実施し早期発見・早期治療に繋げている。
- ・保健室来室状況…けがによる来室者は、年間で10月に最多となり、曜日別でみると金曜日に多かった。
- ・軽微なけがに対応できるよう、全学年の教室に救急処置セットを置いた。
- ・内科的来室は、曜日別でみると月曜に多く、週末の過ごし方や生活リズムの変化が要因にあると考えられる。
- ・R4年度の災害給付件数は、68件起きた。月別にみると、5月・11月が12件と最多だった。



○学校給食について 栄養教諭 小林先生より報告しました。

- ・学校給食は、7つの大きな目標にのっとり実施し、季節感のある献立を大切にしている。
- ・牛乳は成長期に必要なカルシウムなどの栄養素を補っている。夏休みでも1日1本は飲んでほしい。
- ・「学校給食摂取基準」(5年に一度改正)という栄養素の目安量を示したものを参考に、献立をたてている。R3年度から実施されている現在の基準では、ナトリウムを過剰摂取しないようになっていたり、中学生に不足しがちなマグネシウムが新たに栄養素として加わったり、鉄や食物繊維の量が増えたりなどの改定があった。
- ・給食では1日に摂るべき量の1/3が摂れるようにしているので、残り2/3は家で摂れるようにしてほしい。また朝食は熱中症予防にも大事なので、朝食を必ず食べて来るようにしてほしい。



学校薬剤師の西依先生から、「洗にくい水筒であると細菌の繁殖率が高い」という調査データを引き合いに、洗いやすい水筒であることやしっかり乾燥させきれいな状態に入れて入れること、直接口をつけるのではなくコップで飲むものがよいことを話されました。また津島先生より、成長期に多い側弯症について、思春期に進行すること、特に初経前に急速に進行するものがあるということで、お子様の背中や肩やウエストを見て何か気になることがあれば問診票に記入してくださいと話がありました。また子どもの骨は骨端軟骨があり、ここが傷つくと成長に影響がでたり痛みがでる。1日2時間以上運動する子は骨端症のリスクが高くなるため、関節の痛みを訴えたときに単なる成長痛として済ませず、整形外科を受診し、運動と同じくらい栄養・休養を大切にしてほしいと話されました。